

2024年2月 『教育学研究』 投稿要領 改正対応表

2024年2月19日

日本教育学会機関誌編集委員会

(下線が改正箇所)

現行	改正後										
<p>1. 本誌が受け付ける投稿種別は下記のとおりとする。ただし、特集号の依頼論文など、編集委員会がとくに指定したものについては、この限りではない。</p> <p>(i) 研究論文 (ii) 研究ノート <u>(iii) 学界動向</u> <u>(iv) 会員通信</u> <u>(v) 海外学会報告・研究短信</u></p> <p>その他、投稿原稿の枚数、体裁や提出時の注意事項は3.(5)(6)を参照のこと。</p> <p>3. 研究論文および研究ノートの投稿について。</p> <p>(5) 審査の公正を期し円滑にすすめるため、以下を厳守すること。</p> <p>①本文の原稿枚数は<u>下記のとおりとする。</u></p> <table border="0"> <tr> <td>(i) 研究論文</td> <td><u>21枚以内</u></td> </tr> <tr> <td>(ii) 研究ノート</td> <td><u>17枚以内</u></td> </tr> <tr> <td><u>(iii) 学界動向</u></td> <td><u>2枚以内</u></td> </tr> <tr> <td><u>(iv) 会員通信</u></td> <td><u>1枚以内</u></td> </tr> <tr> <td><u>(v) 海外学会報告・研究短信</u></td> <td><u>4枚以内</u></td> </tr> </table>	(i) 研究論文	<u>21枚以内</u>	(ii) 研究ノート	<u>17枚以内</u>	<u>(iii) 学界動向</u>	<u>2枚以内</u>	<u>(iv) 会員通信</u>	<u>1枚以内</u>	<u>(v) 海外学会報告・研究短信</u>	<u>4枚以内</u>	<p>1. 本誌が受け付ける投稿種別は下記のとおりとする。ただし、特集号の依頼論文など、編集委員会がとくに指定したものについては、この限りではない。</p> <p>(i) 研究論文 (ii) 研究ノート <u>(削除)</u></p> <p>その他、投稿原稿の枚数、体裁や提出時の注意事項は3.(5)(6)を参照のこと。</p> <p>3. 研究論文および研究ノートの投稿について。</p> <p>(5) 審査の公正を期し円滑にすすめるため、以下を厳守すること。</p> <p>①本文の原稿枚数は<u>下記の通りとし、別紙のテンプレートを使用すること。テンプレートは大きい図表を挿入する場合を除いて変更してはならない。</u></p> <p>(i) 研究論文 <u>22字×45行の2段組み(余白は上下15mm、左右30mm)、11枚以内</u></p> <p>(ii) 研究ノート <u>22字×45行の2段組み(余白は上下15mm、左右30mm)、9枚以内</u> <u>(削除)</u></p>
(i) 研究論文	<u>21枚以内</u>										
(ii) 研究ノート	<u>17枚以内</u>										
<u>(iii) 学界動向</u>	<u>2枚以内</u>										
<u>(iv) 会員通信</u>	<u>1枚以内</u>										
<u>(v) 海外学会報告・研究短信</u>	<u>4枚以内</u>										

現行	改正後
<p>(3.(5)①続き)</p> <p><u>用紙は A4 判、1 ページ 22 字×45 行、上下余白各 15 mm、左右余白各 65 mmとする。上記の枚数には、本文の他、タイトル、注記、図表、参考文献等を含む。注記、参考文献は本文と同じ文字サイズとすること。図表等の文字数は、本誌 (B5 判) に掲載された場合のスペースに相当する文字数としてカウントする。</u></p> <p>②論文本文と、英文摘要およびその邦文訳の冒頭にタイトル・副題をいれること。ただし氏名、所属等は記入しないこと。</p> <p>③論文中に「拙稿」「拙著」「筆者の既発表論文」あるいは「科研費課題番号」などの表現や、研究助成、共同研究者への謝辞など、投稿者が判明するような記述を行わないこと。</p> <p>④「研究ノート」として投稿する場合は、タイトルの前に<研究ノート>と記すこと。</p> <p>⑤原稿にはページ番号を付すること。</p>	<p>(3.(5)①続き)</p> <p><u>テンプレートの通り、原稿は A4 判で作成する。上記の枚数には、本文の他、タイトル、日本語要旨、注記、図表、参考文献等を含む。注記、文献リストは本文と同じ文字サイズとすること。原稿内に氏名、所属等は記入しないこと。テンプレートのファイルは本学会ホームページおよびオンライン会員管理システム SOLT1 からダウンロードすることができる。</u></p> <p><u>図表等は、本誌 (B5 判) に掲載された場合に無理なく判読できる大きさで作成し、本文原稿の適切な箇所に挿入する。図表内の文字の大きさは Word ファイル上で約 9 pt 以上あることが望ましい。大きな図表は 2 段組みを解除してページの最上部、もしくは最下部に配置してもよい。その場合も、紙面の余白を上下 15 mm、左右 30 mm ずつ確保すること。</u></p> <p>②論文本文以外に、英文摘要およびその邦文訳を作成する。原稿は、「500 語以内の英文摘要」と「その邦文訳」を 1 セットに、それぞれの冒頭に英語、日本語の主題・副題とキーワードを各 5 語ほど記入すること。氏名、所属等は記入しないこと。</p> <p>③論文中に「拙稿」「拙著」「筆者の既発表論文」あるいは「科研費課題番号」などの表現や、研究助成、共同研究者への謝辞など、投稿者が判明するような記述を行わないこと。</p> <p>④「研究ノート」として投稿する場合は、タイトルの前に<研究ノート></p>

現行	改正後
<p>(6) 提出物は PDF 形式で以下のとおりとする。</p> <p>①論文本文： <u>原稿は、冒頭に主題・副題を入れ、提出する。図表を別ファイルで作成する場合は、下記③を参照のこと。いったん受領した原稿の差し替えは、原則として認めない。</u></p> <p>②英語摘要とその邦訳： <u>原稿は、「500 語以内の英文摘要」と「その邦文訳」を 1 セットに、それぞれの冒頭に英語、日本語の主題・副題とキーワードを各 5 語ほど記入すること。</u></p> <p>③図表： <u>図表を本文と別に提出する場合は、PNG,JPG などの画像のデータ形式とする。複数ファイルがある場合には、Zip ファイルにまとめて提出する。本文と図表を合わせて、(5) ②の枚数に収めること。(例えば、投稿論文用紙の 1/2 ページ相当の場合 500 字、1 ページ相当の場合 1,000 字として換算する。)</u></p> <p>④関連論文： <u>投稿論文と内容的に非常に関係の深い論文がある場合は、抜き刷りデータも同時に提出する。その際に巻号数を含む雑誌名、氏名、所属、科研費課題番号等が見えないよう削除・マスキングすること。</u></p> <p>(7) 投稿された論文については、「掲載決定」「条件付き掲載決定」「再投稿・再々投稿」「不採択」で評価する。採択・不採択を問わず編集委員会から</p>	<p>と記すこと。</p> <p>⑤原稿にはページ番号を付すること。</p> <p>(6) 提出物は PDF 形式で以下のとおりとする。<u>いったん受領した提出物の差し替えは、原則として認めない。</u></p> <p>①論文本文：<u>(削除)</u></p> <p>②英語摘要とその邦訳：<u>(削除)</u></p> <p>③関連論文： <u>投稿論文と内容的に非常に関係の深い論文がある場合は、抜き刷りデータも同時に提出する。その際に巻号数を含む雑誌名、氏名、所属、科研費課題番号等が見えないよう削除・マスキングすること。また、関連論文と投稿論文との関係についての説明文を、A4 で 1 枚を超えない範囲で添付する。関連論文を投稿論文内で引用しているときは、本文内の引用箇所および文献リストの執筆者名もマスキングすること。</u></p> <p>(7) 投稿された論文については、「掲載決定」「条件付き掲載決定」「再投稿・再々投稿」「不採択」で評価する。採択・不採択を問わず編集委員会から</p>

現行	改正後
<p>の査読コメントを送付する。ただし、査読コメントに対する問い合わせには応じない。</p> <p>(8) 投稿者は、編集委員以外の会員から利益相反関係のない査読候補者を指名することができる。その場合、2名までの査読候補者を SOLTI からの論文投稿時に入力すること。ただし、最終的な査読者は投稿者が指名した会員を含む複数の候補者の中から編集委員会が決定し、その氏名は投稿者に対しては通知されないこととする。</p> <p>(9) (新規)</p>	<p>の査読コメントを送付する。ただし、査読コメントに対する問い合わせには応じない。</p> <p>(8) 投稿者は、編集委員以外の会員から利益相反関係のない査読候補者を指名することができる。その場合、2名までの査読候補者を SOLTI からの論文投稿時に入力すること。ただし、最終的な査読者は投稿者が指名した会員を含む複数の候補者の中から編集委員会が決定し、その氏名は投稿者に対しては通知されないこととする。</p> <p>(9) <u>「条件付き掲載決定」「再審査」の場合に、修正した論文を再度投稿する場合には、査読コメントに対するリプライペーパー（指定のテンプレートを使用）を添付すること。リプライペーパーにおいても、投稿者が判明するような記述を行わないこと。</u></p>

以上